

〔平成30年度 伊勢市水道事業会計決算の概要〕

本市の水道事業は、給水の安定及び有収率の向上を図り、効率的な維持管理を行うため、老朽化した設備及び配水本管の更新、基幹管路の耐震化、下水道工事などに伴う配水本管布設替等の工事を実施してまいりました。

また、本年度が現行の水道事業基本計画の最終年度となることから、本市水道事業が現在抱える課題に対して、中長期的な視点から計画期間を10年間とする具体的な取り組みを示した「伊勢市水道事業ビジョン」を新たに策定・公表しました。

1. 経営成績 (単位：千円)

収益的収入	2,669,209
収益的支出	2,257,539
当年度純利益	411,670
その他未処分利益剰余金変動額	478,232
当年度未処分利益剰余金	889,902

※ 議会の議決により、当年度未処分利益剰余金のうち、その他未処分利益剰余金変動額は資本金に組み入れ、当年度純利益分は資本的支出の財源として、建設改良積立金に411,670千円を積立しました。

2. 財政状態 (単位：千円)

区 分	金 額	区 分	金 額
資 産	26,514,499	負 債	10,927,174
固定資産	24,261,680	固定負債	5,002,075
流動資産	2,252,819	流動負債	707,531
		繰延収益	5,217,568
		資 本	15,587,325
		資 本 金	14,674,294
		剰 余 金	913,031
		資本剰余金	23,129
		利益剰余金	889,902
合 計	26,514,499	合 計	26,514,499

3. 業務量の概要

項 目		平成 30 年度	平成 29 年度	比 較	
				増・(△)減	比 率
上水道	給水戸数 戸	56,691	56,473	218	100.4%
	給水人口 人	125,206	126,213	△1,007	99.2%
	配水量 A m ³ /年	16,262,686	16,524,053	△261,367	98.4%
	有収水量 B m ³ /年	14,540,950	14,658,408	△117,458	99.2%
	有収率 B/A %	89.4	88.7	0.7	—
簡易水道	給水戸数 戸	53	57	△4	93.0%
	給水人口 人	81	86	△5	94.2%
	配水量 C m ³ /年	15,487	13,852	1,635	111.8%
	有収水量 D m ³ /年	6,831	7,119	△288	96.0%
	有収率 D/C %	44.1	51.4	△7.3	—
計	給水戸数 戸	56,744	56,530	214	100.4%
	給水人口 人	125,287	126,299	△1,012	99.2%
	配水量 E m ³ /年	16,278,173	16,537,905	△259,732	98.4%
	有収水量 F m ³ /年	14,547,781	14,665,527	△117,746	99.2%
	有収率 F/E %	89.4	88.7	0.7	—

4. 水道事業基本計画目標値の結果

指 標 名	H30 実績	H29 実績	比 較		H30 目標	望ましい 方向
			増・(△)減	比 率		
水質検査箇所密度 箇所/100k m ²	12.3	12.3	0	100.0%	12.0	↑
* 平均残留塩素濃度 %	0.3	0.3	0	—	持続	↑
* 配水池の耐震化率 %	37.8	37.8	0	—	87.0	↑
管路の耐震化率 %	18.2	17.5	0.7	—	16.5	↑
管路の更新率 %	1.39	1.08	0.31	—	2.00	↑
車載用の給水タンク保有度 m ³ /1000人	0.145	0.144	0.001	100.7%	0.098	↑
有収率 %	89.4	88.7	0.7	—	88.5	↑
配水量 1 m ³ 当たり電力消費量 kwh/m ³	0.33	0.34	△0.01	97.1%	0.27	↓

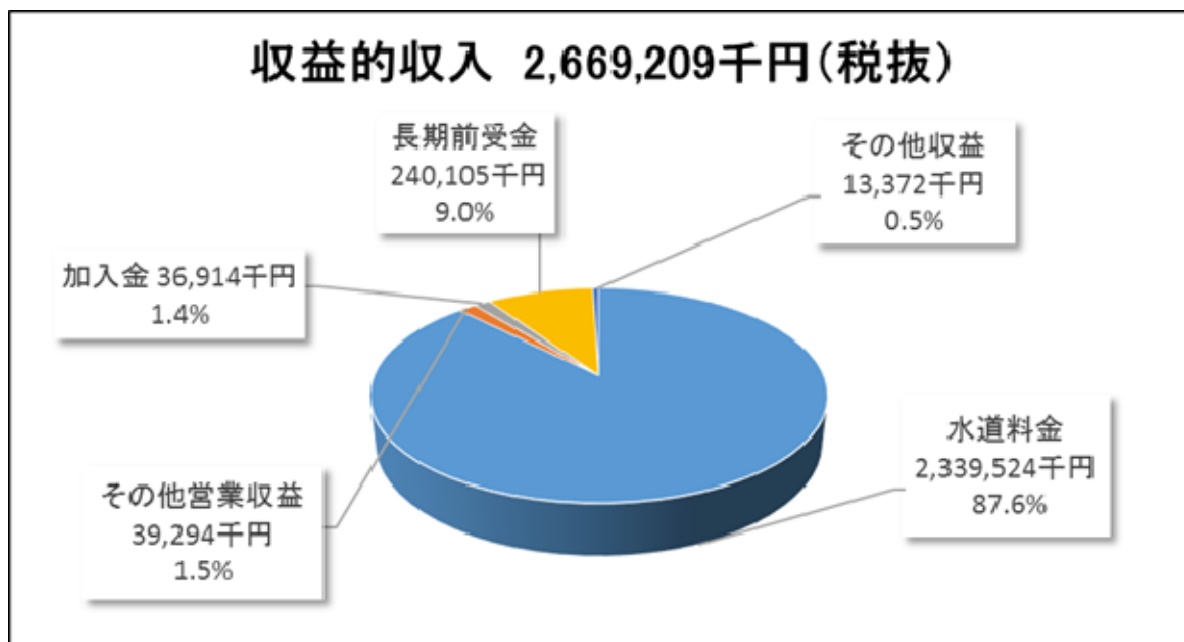
* 水道事業ガイドライン等の改正に伴い、定義、算定方法等に大きな変更が生じたもの。

[水道事業の収支]

1. 収益的収支

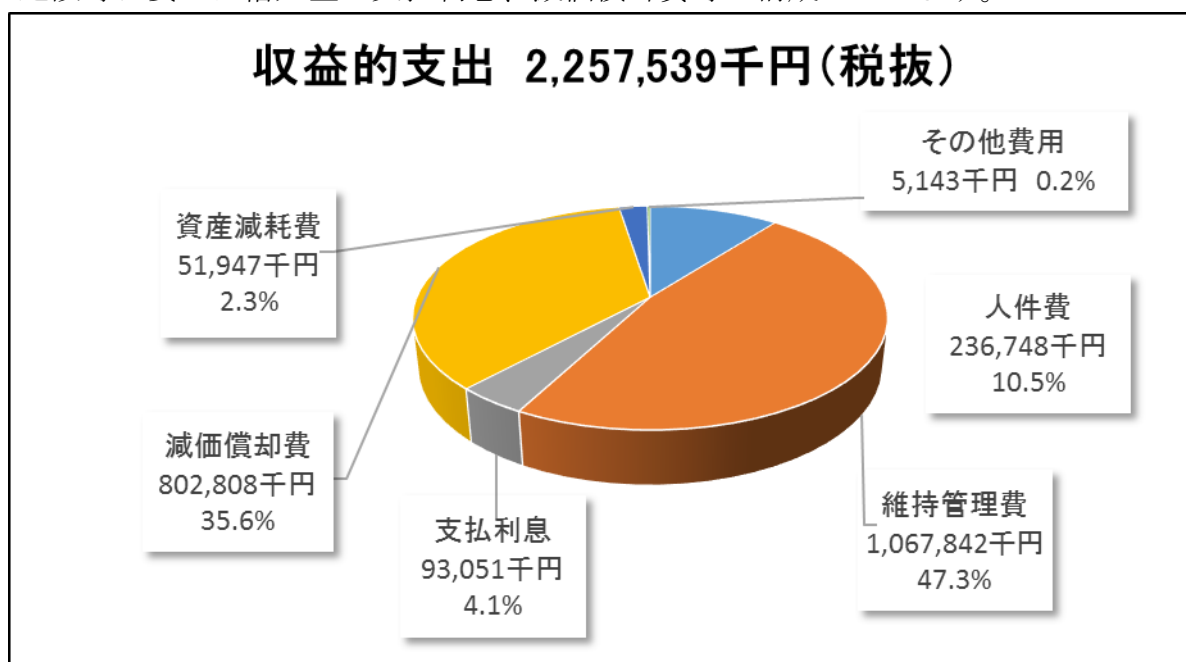
① 収益的収入

原水の取水や配水に係る施設の維持管理費等水道事業の経営に必要な経費（収益的支出）の財源。利用者に負担いただく水道料金、加入金等で構成しています。



② 収益的支出

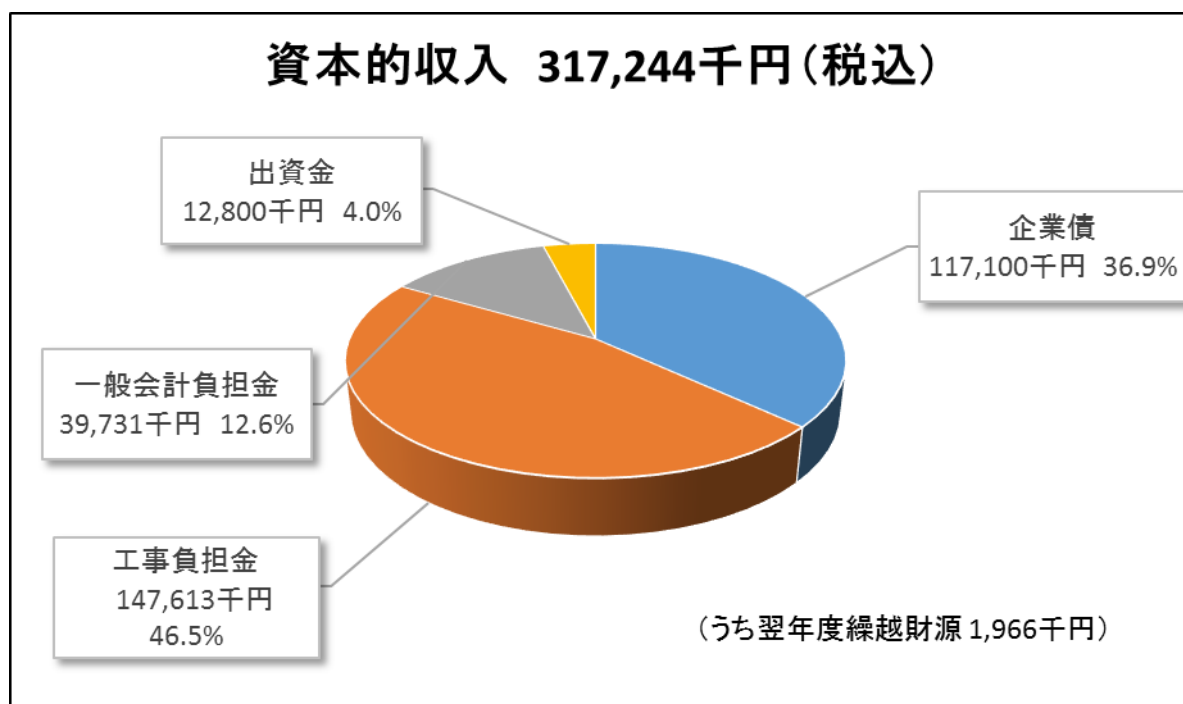
水道料金、加入金等（収益的収入）を財源として、水道事業を運営していくために必要な維持的経費。原水の取水や配水に係る施設の維持管理費、人件費、施設の建設等に要した借入金の支払利息、減価償却費等で構成しています。



2. 資本的収支

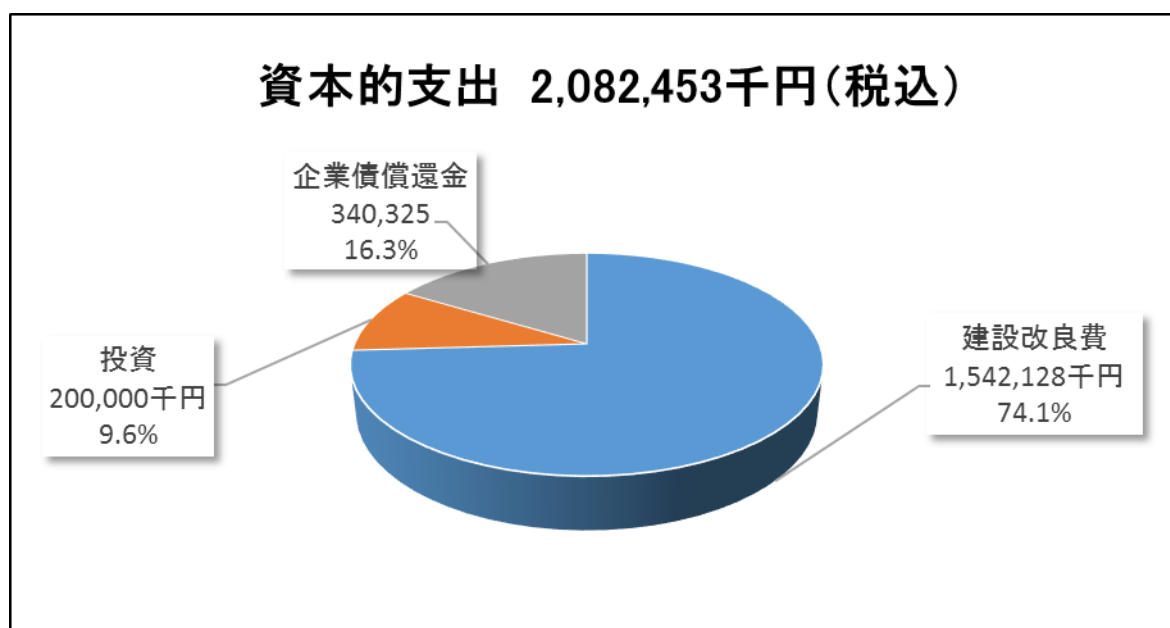
① 資本的収入

施設の建設改良及び建設改良にかかる企業債償還金(資本的支出)の財源。企業債、工事負担金、一般会計負担金及び出資金(一般会計)等で構成しています。



② 資本的支出

企業債や工事負担金等(資本的収入)を財源として、将来の経営活動に備えて行う施設・設備の建設改良や企業債の償還等にかかる事業費。建設改良費、投資、企業債償還金(借入金の返済)で構成しています。



※資本的収入額(翌年度繰越財源 1,966 千円を除く。)が資本的支出額に不足する額 1,767,175 千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 94,301 千円、繰越工事資金 2,428 千円、減債積立金 23,000 千円、建設改良積立金 455,232 千円、過年度分損益勘定留保資金 1,192,214 千円で補填しました。